

ショートタイトル 1日目 8月29日(土)

第1会場 (4F G403 + 404)

セッション	演題番号	タイトル	座長・演者 (所属)
一般演題(口頭) 1	9:05	視覚生理・基礎研究	座長：山成 正宏 (トメコ・ル・ビジ)
			田中 清 (信州大)
		O-01 白内障とまぶしさ	飯塚 達也 (交通研)
		O-02 間歇性外斜視の内直筋構造	関 裕太 (京都府医大)
		O-03 単乱視の評価	橋爪くれあ (帝京大大学院)
		O-04 高齢者色覚再現の検討	谷口 智美 (信州大)
教育セミナー ES	9:55	O-05 調節時水晶体変形機序	安東 尚美 (流域調整室)
		(若手) OCT のリアルとこれから	オーガナイザー：巻田 修一 (筑波大)
			添田 浩生 (バプテスト眼科クリニック)
		ES-1 角膜・屈折矯正診療における前眼部 OCT の活用と次世代への期待	西田 知也 (中京眼科)
		ES-2 視能訓練士からみたくつもの後眼部 OCT の日常診療と未来への展望	高橋 慎也 (小沢眼科内科病院)
		ES-3 OCT 研究現場から見た今後の展望	三浦 雅博 (COG 筑波大)
一般演題(口頭) 2	11:35	屈折・光学デバイス	座長：高 静花 (大阪大)
	11:40		洲崎 朝樹 (メニコン)
		O-06 PHANTOM の輻輳時他覚測定評価	小林 俊洋 (ニデック)
		O-07 円錐角膜の見え方と角膜屈折	中野 駿 (大阪大 眼科)
		O-08 フリーフォーム CAD 光線追跡	久保田 慎 (株) シード)
		O-09 Microlens array 眼鏡の画質	祁 華 (HOYAVC 開発部)
ランチョンセミナー 1	12:30	O-10 近視抑制 CL のシミュレーション	稗田 牧 (京都府医大)
	12:50	近視進行抑制から老視治療まで～患者ニーズに応える眼光学的アプローチ	座長：神谷 和孝 (昭和医大)
			共催：参天製薬株式会社
		患者ニーズに応える近視進行抑制の眼光学的アプローチ	稗田 牧 (京都府医大)
		患者ニーズに応える老視治療の眼光学的アプローチ	興水 学 (山王病院アイセンター)
	13:50		
アフタヌーンセミナー	14:30	その乱視、矯正しますか？	座長：高 静花 (大阪大)
			共催：日本アルコン株式会社
		弱度乱視の視機能への影響	前野 紗代 (大阪大)
		乱視用 SCL、私はこう処方しています	山岸 景子 (かほら山崎眼科クリニック)
	16:15		
	16:30	(基礎) 視覚機能とメカニズム～眼光学視点から心理学視点	オーガナイザー：三橋 俊文 (帝京大・医療技術学部視能矯正学科)
シンポジウム 1			吉澤 達也 (神奈川大)
		S1-1 両眼視と立体視 眼光学的視点から	不二門 尚 (大阪大)
		S1-2 両眼視と立体視～心理物理学的視点から	金子 寛彦 (東京科学大・工学部情報工学科)
		S1-3 運動視～心理学的視点から	久方 瑠美 (東京科学大)
		S1-4 色覚メカニズムと色の見え～応用的側面から	山内 泰樹 (山形大)
	18:00		

第2会場 (4F G402)

セッション	演題番号	タイトル	座長・演者 (所属)
ランチョンセミナー 2	12:50	老視と乱視に一筋の光を～遠近両用トーリックコンタクトレンズの可能性～	座長：前田 直之 (湖崎眼科)
			共催：株式会社メニコン
		遠近両用トーリック CL の光学設計は見え方をどう変えるのか？	川守田拓志 (北里大・医療衛生)
		「見える」と「快適に見える」の間～老眼世代における乱視矯正と眼表面の役割～	高 静花 (大阪大)
	13:50		
		学術論文賞受賞記念講演	座長：神谷 和孝 (昭和医大)
		放射状角膜切開術後眼と円錐角膜眼における角膜生体力学的特性の特徴	岩本 悠里 (淀川キリスト教病院 / 大阪大)

ショートタイトル 2日目 8月30日 (日)

第1会場 (4F G403 + 404)

セッション	演題番号	タイトル	座長・演者（所属）
8:45	一般演題（口頭）3	検査・イメージング O-11 深層学習モデルによる ICL サイズ O-12 角膜断層像の周波数解析 O-13 超広角 OCTA のワンショット撮影 O-14 2 種類の眼軸長測定装置の比較 O-15 手持式レフによる屈折度	座長：稗田 牧（京都府医大） 禰 華（HOYA VC 開発部） 加藤 幸仁（中京眼科） 田中 芳樹（中京眼科） 羽根渕昌明（トプコン） 金子 歩駒（慶應大） 高木美佐紀（新潟医歯大大学院）
9:35	一般演題（口頭）4	眼内レンズ・眼科手術 O-16 多焦点 IOL 別の眼鏡依存度 O-17 Vivinex® 乱視耐性 O-18 乱視低矯正と残余乱視の関係 O-19 Enhanced IOLs の許容範囲 O-20 ICL 後狭隅角の半年間の経過	座長：根岸 一乃（慶応大） 市川 一夫（ <i>柳屋/Grand Tokyo アイクリニック</i> ） 中新井田悠太（ツカザキ病院） 蕪 龍大（上天草総合病院） 佐藤 司（阿久津医院） 横川 知弘（宮田眼科） 西田 知也（中京眼科）
10:30	特別講演	臨床医として眼光学とともに歩んで 一多くの出会いに支えられた研究の軌跡— 座長：神谷 和孝（昭和医大） 臨床医として眼光学とともに歩んで 一多くの出会いに支えられた研究の軌跡— 根岸 一乃（慶應大）	
10:40	ランチョンセミナー 3	920 万件の眼鏡購買データからみた日本人の屈折度数分布 眼鏡購買データを用いた屈折度数の分布と変化 眼鏡購買データからみた乱視の分布特性	座長：前田 直之（湖崎眼科） 共催：株式会社ジンズ 川崎 良（大阪大・公衆衛生） 高 静花（大阪大）
12:55	シンポジウム 2	（臨床）屈折矯正と老視矯正はどこまで進化するのか？ オーガナイザー：前田 直之（湖崎眼科） 宮田 和典（宮田眼科病院） S2-1 眼鏡を究める S2-2 コンタクトレンズを究める S2-3 眼内レンズを究める S2-4 有水晶体眼内レンズを究める。光調整レンズを含めて。	川守田拓志（北里大・医療衛生） 平岡 孝浩（筑波大） 森 洋斉（宮田眼科） 市川 一夫（ <i>柳屋/Grand Tokyo アイクリニック</i> ）
14:05			
15:35			

第2会場 (4F G402)

セッション	演題番号	タイトル	座長・演者（所属）
11:55	ランチョンセミナー4	小児近視における眼光学的視点ー 近視のメカニズムと眼鏡処方の実際ー	座長：川守田拓志（北里大・医療衛生） 共催：HOYA ビジョンケアカンパニー
12:55		近視と Visual Dietー 視覚入力環境から考える近視発症・進行メカニズムー 小児近視管理における眼鏡処方検査の実際と視能訓練士の役割	五十嵐多恵（東京都立広尾病院） 徳武 朋樹（川崎医大・総合医療センター）

ショートタイトル ポスター 8月30日(日)

ポスター会場 (4F G401)

セッション	演題番号	タイトル	座長・演者（所属）
-------	------	------	-----------

13:55

一般演題 (ポスター) 1	屈折、眼鏡、コンタクトレンズなど	
	座長：糸川 貴之 (東邦大)	
	P-1 正乱視眼の焦点位置の検討	岩田 遥 (北里大)
	P-2 Vixion015 を用いた視力検査	高木 勇貴 (可児大学の病院)
	P-3 プラノサイズレンズの距離依存性	今枝 大 (伊藤光学工業㈱)
	P-4 正弦波縞視標を用いた乱視検査	加藤可奈子 (帝京大・視能矯正)
一般演題 (ポスター) 2	P-5 コンタクトと眼鏡による遠視矯正	大口 泰治 (大口眼科)
	その他	
	座長：広田 雅和 (帝京大)	
	P-6 低視力時に可視となる視力視標	森 峰生 (オプトム堂)
	P-7 自覚検査眼中の他覚屈折測定	松本 章宏 (トプコン)
	P-8 瞳孔径がもたらす色同化の変化	辻 奈津美 (豊橋技科大)
	P-9 Stargardt 病と TWC lens	中塚 秀司 (刈谷豊田総合病院)
	P-10 片眼の多焦点術後に不等像視	川村 彩珠 (昭和医大・保)